

「開かれた議会」 「行動する議会」 「目に見える議会」へ



新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、希望に満ちた、平成30年の新春を晴れやかにお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

年頭に当たり、小諸市議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私は、昨年2月の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長に選任されました。就任以来、市政の進展と円滑な議会運営に微力をささげてまいりましたが、その間、市民の皆様から寄せられました温かいご指導やご厚情に対し厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、異常気象による記録的な大雨や大型台風による大雨と暴風により、全国に甚大な被害をもたらしました。とりわけ台風21号は、

小諸市においても倒木による通行止めや停電、リンゴの落下など農作物等への被害が発生し、また、一部地域では土砂崩落による避難勧告が発令されるなど、改めて自然災害に対する防災意識を高める必要性を感じたところであります。

市政におきましては、コンパクトシティ構想の核の一つである、浅間南麓こもろ医療センターが昨年9月に完成し、12月より開院しました。病診連携をはじめ、福祉・保健活動を含めた地域医療体制の充実に期待を寄せるとともに、隣接する市役所庁舎・市民交流センター・図書館との相乗効果による市民交流の拠点として大いに期待をしています。

議会では、議会運営及び議会活動に関する最高規範として「議会基本条例」を制定し、市民の皆様へ「開かれ

た議会」、「行動する議会」として、「目に見える議会」への具現化に努めているところでございます。

さらに、地域課題の取組みや近隣自治体との連携強化など、山積する課題に対しても、緊張感をもって理事者と議論を重ね、切磋琢磨してまいります。

むすびに、小諸市第5次基本構想に定めた小諸市の将来像「住みたい行きたい 帰ってきたい まち 小諸」をめざし、全ての人が安全で安心して暮らせる、活気にあふれた「高原の城下町」の再生をめざし、議会一丸となって取り組んでまいります。

これから、皆様方のさらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、ご多幸とご健勝を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

小諸市議会議長 林 稔

Step forward